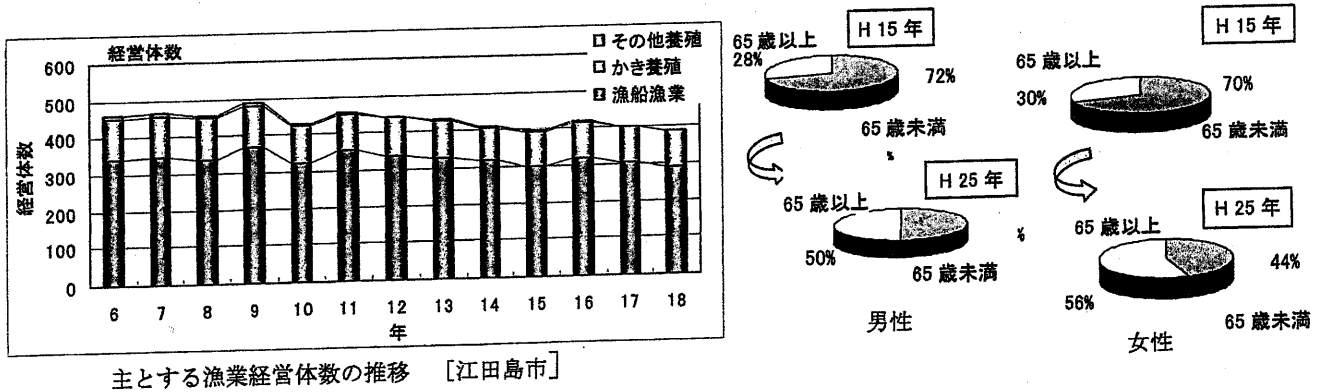


江田島市水産振興ビジョン活動計画 (H22.7月策定)

I 江田島市水産業の現状と課題

1. 漁業従事者

江田島市の漁労体数は年々減少し、平成18年では292であり、10年前の平成8年から、14%減少した。かき養殖漁業経営体数は、平成18年は94経営体であり、10年間で16%減少した。平成15年の年齢構成は、男性は28%、女性は30%が65歳以上であり、平成25年には男性の50%、女性の56%が65歳以上となる、後継者の不足は深刻な状況で新規就業がなければ、市水産業の維持は困難となる。



2. 漁業協同組合

江田島市には11の漁業協同組合があり、漁船漁業に携わる正組合員は366人(67.5%)・養殖業に携わる正組合員は176人(32.5%)である。市内漁業協同組合は、全般的に組織・経営基盤が弱く、職員も少数で経営指導や漁場管理指導が十分行えておらず、今後さらに組合員数が減少すれば、組合機能はますます低下する懸念がある。



漁協	漁種	底びき網	刺し網	釣り	いわし船びき網	その他の漁船漁業	かき養殖	その他の養殖	計
三高		20	4	24		2	15		65
美能		18	13			11	18		60
沖		5	9	3		6		2	25
内能美			9	6		3	34		52
鹿川		18	7	2	38	14	12		91
大柿町		14	2	7	4	2	13	1	43
大原		26	5	4		1	8		44
深江		1	4	2	2	10	12		31
江田島		10	17				7	26	60
東江		8	11		3	1	19		42
切串		3	3	6	1		16		29
計		123	84	54	48	57	173	3	542

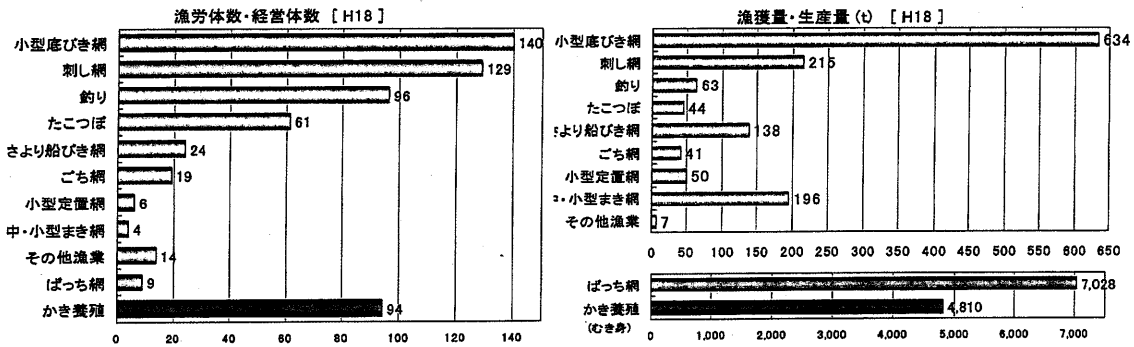
主たる漁業種類別従事者数 [正組合員] (H21.4)

3. 主要漁業

平成18年度における市内の漁労体数は、小型機船底びき網漁業が140と最も多く、続いて刺し網の129・釣り96・かき養殖業94経営体と続く。

漁獲量(生産量)が最も多いのは、ぱっち網漁業の7,028tで、続いてかき養殖業の4,810t・小型機船底びき網634tと続く。

かき養殖業の生産量は、宮城県のかき生産量(H18年 4,452t)より多く、日本有数の産地である。

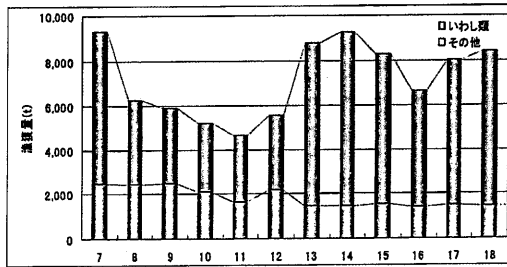


4. 漁獲量・漁獲金額の推移

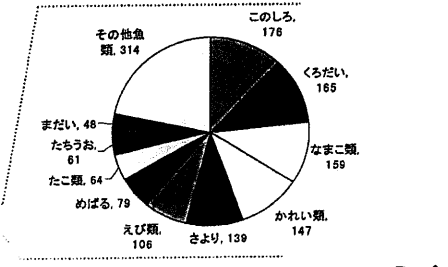
(1) 漁船漁業

平成18年における市内漁船漁業の漁獲量は、8,418tで県内生産量(18,827t)の44.7%を占める。漁獲変動の激しい「いわし類」を除く漁獲量は1,458tで、年々減少傾向にあり、10年前の平成8年(2,435t)と比較すると40.1%減少している。

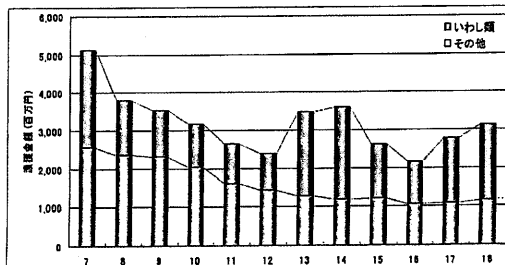
平成18年の漁獲金額は、1,154百万円(いわし類除く)で、平成8年(2,563百万円)と比較すると55.0%減少している。



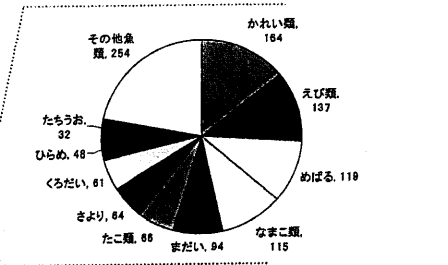
漁獲量の推移 [江田市] 単位(t)



H18年その他 内訳計 1,458t



漁獲金額の推移 [江田市] 単位

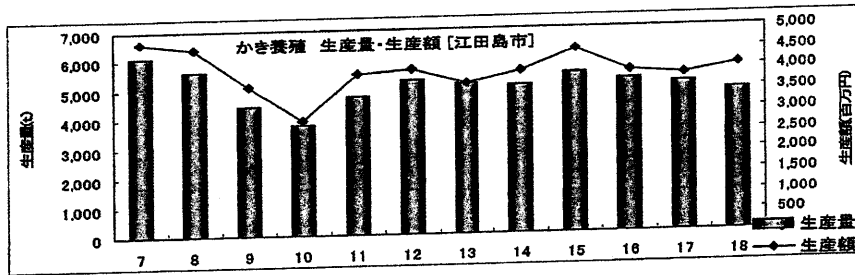


H18年その他 内訳計 1,154百万円

(2) かき養殖業

平成 18 年における本市のかき生産量は、4,810t で県内生産量(19,120t)の 25.2%を占めており、国内生産量(33,057t)の 14.6%を占めている。

平成 9・10 年は、ヘテロカプサにより大幅な生産減少があった。生産量・生産額は漁船漁業同様に減少傾向にあり、平成 18 年の生産量 4,810t、生産額は 4,035 百万円であり、10 年前の平成 8 年(5,615t・4,559 百万円)と比較すると生産量は 14.3%、生産額は 11.5%減少している。



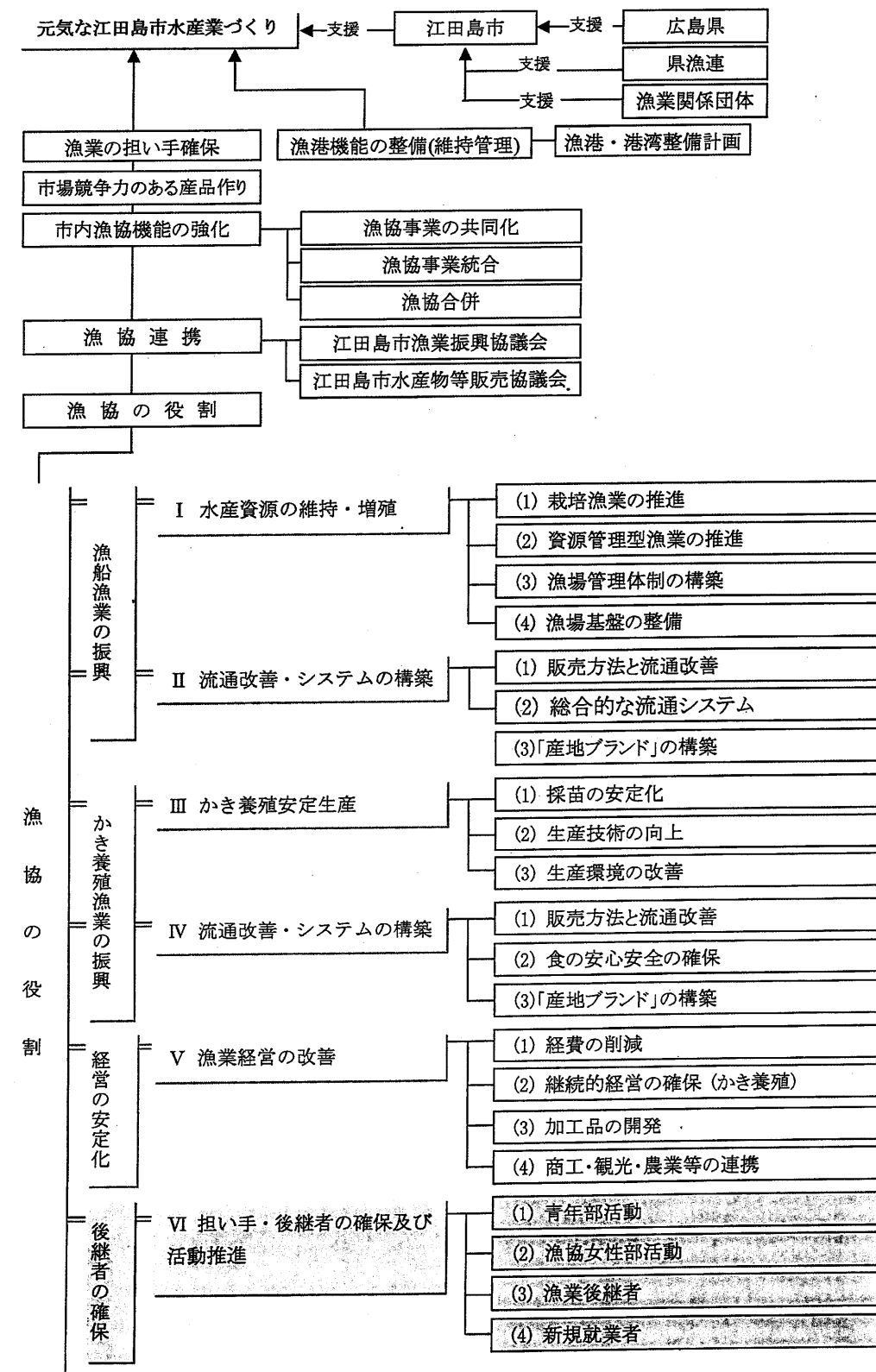
かき養殖生産量・生産額の推移[江田島市] 単位 (生産量 : t ・ 生産額 : 百万円)

II 施策体系と具体的方策

本市水産業は、地域社会を維持するための重要な産業であり、「元気な江田島市水産業づくり」実現のため、漁協の機能強化を図り、漁業者の主体的な取り組みを支援することを基本方針として次のような「施策体系」と「具体的方策」を示しました。

1. 施策体系

水産業振興策を具体的に展開するための施策体系を示しました。



2. 課題と具体的方策

課題と具体的方策本市水産業の実情を踏まえながら、持続可能な漁業経営を図るため課題を抽出し、漁協が主体となった取り組みを具体的方策として示しました。
市は、これらの取り組みを支援し、漁協の機能強化と漁業経営の発展を共に目指します。

I 水産資源の維持増殖	地魚の安定供給を図るため、放流効果の検証や把握により効果の高い栽培漁業の発展を目指すとともに、稚魚の生息環境を改善し、水産資源の維持増殖を図ります。
II 流通改善・システムの構築	地魚の付加価値を高め、産地間競争に打勝つブランドを確立するため、鮮度保持や漁獲物の品揃えに対処し、効率的・効果的に出荷するための集荷システムや輸送システムを構築するとともに、鮮度保持はもとより、活魚の集積や輸送等に耐える施設も含めて検討が必要です。
III かき養殖安定生産	近年のかき養殖については、身入りの遅れ・へい死の増加や食害などにより、生産量が減少しています。かきの身入りを促進し、現在のかき養殖手法を検証し、効果的な育成方法を開発して高品質のかきを安定的に生産する体制を目指すとともに、販売に専任者を育成し、消費者ニーズに対応した安心・安全なかきの出荷に向けての取り組みが必要です。
IV 流通改善・システムの構築	効率的な出荷体制を整備し、産地間競争に打勝つブランドを構築するためには、漁船漁業と併せて、販売に関する専任者を育成し、漁協が主体となった集荷システムや輸送システムを検討が必要です。このシステムは、「江田島かき」の商品価値を上げるために、出荷サイズや身入り状況など徹底した商品管理に努めることや消費者ニーズに応じたトレーサビリティシステムの導入も必要であり、市内かき養殖業者だけでなく、組合や仲買業者など関連企業全体で検討を進める必要があります。
V 漁業経営の改善	漁業経営は、燃油高騰や経済情勢の変化に振り回され、ますます厳しさを増しています。このような状況に対応した経営の近代化及び漁業経営の安定化を目標に、漁協及び漁業者が一体となって関係団体の協力と連携を図り、経営改善に向けての取り組みが必要です。
VI 担い手・後継者の確保及び活動推進	漁業者の高齢化や後継者不足による地域活力の低下に対して、青年部・女性部活動を充実させ、漁業の担い手確保・育成を推進し、長期的に安定した漁業ができる基盤をつくる必要があります。また、新規漁業者を確保するため、定年退職者やUJIターナー者の就労希望者へ情報発信など積極的な取り組みが必要です。

項目	課題	具体的方策	
I 水産資源の維持増殖	(1) 栽培漁業の推進	○ 漁獲量の減少 ○ 漁家所得減少により継続的放流経費の負担が増大 ○ 放流効果の発現が希薄	① 放流漁種の選定・放流サイズの決定・効果の検証と把握 ② アサリ資源の回復
	(2) 資源管理型漁業の推進	○ 資源の枯渇	① 管理対象魚種・サイズの検討 ② 保護区域・期間の検討
	(3) 漁場管理体制の構築	○ 組合機能としての監視体制が未整備	① 漁場監視・密漁防止体制の構築
	(4) 漁場基盤の整備	○ 網がかり等による魚礁機能の低下 ○ 漁場環境の悪化 ○ 幼稚魚育成場所等の減少 ○ 漁業被害の増大	① 魚礁機能の維持・管理 ② 漁場環境の維持・修復 ③ 漁場機能の回復④ 漁業被害等の防止
II 流通改善・システムの構築	(1) 販売方法の改善	○ 販売価格の低迷 ○ 消費の減少	① 活魚の出荷 ② 鮮魚の出荷
	(2) 総合的な流通システム	○ 効果的な集出荷システムの見直し ○ 流通に関するノウハウの不足 ○ 流通に関する専任者の未整備	① 出荷体制の構築 ② 市場連携 ③ 新規市場開拓 ④ 直販
	(3) 「地域ブランド」の構築	○ 価格の低迷 ○ 高付加価値化	① 販売活動の展開

Ⅲ かき 養殖安 定生産	(1) 採苗の安定化	○ 効率的で確実な採苗	① 採苗情報の確保
	(2) 生産技術の向上	○ 生産量の減少(身入りの遅れ・へい死の増加)	① 高品質かきの安定生産 ② へい死・成長阻害対策
	(3) 生産環境の改善	○ 漁場環境の悪化 ○ 資材の適正処理	① 漁場の管理 ② 漁場環境の維持・修復 ③ 漁場周辺環境改善
Ⅳ 流 通改 善・シス テムの 構築	(1) 販売方法と流通改善	○ 販売価格の低迷 ○ 消費の減少	① 直販比率の改善 ② 仲買業者との連携 ③ 市場開拓
	(2) 食の安心安全の確保	○ 消費者ニーズへの対応	① 衛生管理
	(3) 「地域ブランド」の構築	○ 江田島かきの知名度向上	① 出荷基準の設定 ② 商品開発
Ⅴ 漁 業経 営の 改善	(1) 経費の節減	○ 資材価格上昇への対応	① 資材の共同購入
	(2) 継続的経営の確保(かき)	○ 従業員の確保 ○ 施設の更新・改修経費の確保	① 企業的経営の推進
	(3) 加工品の開発	○ 魚価の低迷 ○ 未利用資源の有効活用と付加価値化	① 開発グループの確保
	(4) 商工・観光・農業等との連携	○ 連携体制の未整備	① 体制整備
Ⅵ 担 い手・ 後継者 の確保 及び活 動推進	(1) 青年部活動	○ 高齢化に伴い青年部員が減少 ○ 単協での組織維持が困難	① 青年部活動推進体制の整備
	(2) 女性部活動	○ 女性部活動の活性化	② 女性部活動推進体制の整備
	(3) 漁業後継者	○ 後継者の減少	① 後継者の育成体制の整備
	(4) 新規就業者	○ 新規就業者の確保	① 新規就業者の受入体制の整備

Ⅲ 施策の展開

本市は、「江田島市総合計画」が目標とする「元気な地域を育てるまちづくり」及び「元気な江田島市水産業づくり」を推進するため、施策体系による具体的方策の実施を支援し、漁業振興施策を協働して展開するとともに、早期に展開すべき施策を重点施策として取り組みます。

1. 漁業振興施策の展開

本市は、「江田島市総合計画」の漁業振興施策として、次に掲げた施策を計画的に取り組みます。

1. 漁場環境の再生とつくり育てる漁業の推進

- ① 漁場環境の改善としての海域の浄化及び啓発活動の展開
- ② 漁業生産基盤の整備としての魚礁・築いそ等の整備及び干潟・藻場の造成
- ③ 漁港・漁業近代化施設等の整備としての漁港の整備・かき作業場等の整備近代化及び水産加工施設等の整備
- ④ 水産廃棄物等処理施設の整備としてのかき殻一時堆積場の整備及びかき筏処理施設の整備
- ⑤ 水産資源の維持・増殖

2. 漁業経営の安定化

- ① 担い手の確保・育成
- ② 漁業経営の安定化の支援
- ③ 特産品づくりの促進
- ④ 流通・販売体制の強化

3. 漁業を生かした交流の推進

- ① 観光漁業の推進としての観光漁業推進体制の強化及び特色ある観光漁業の展開
- ② 農業・漁業体験学習施設の整備
- ③ 漁業を生かしたイベント・交流活動の展開
- ④ みんなで育てる豊かな食文化づくり
- ⑤ グリーン・ツーリズムの推進
- ⑥ 漁業等にかかわる情報の受発信



2. 重点施策の展開

それぞれの漁業振興施策の中から必要性・緊急性の高い施策を選択して重要施策と位置づけ、戦略組織を立ち上げ、県・関係団体と協力しながら実施に向けて具体的な取り組みを行います。

1. 共同集出荷体制の構築と販売戦略

- ① 効率的な出荷体制の整備
- ② 地域特産魚種のブランド化による漁業経営の安定

2. 水産資源の維持増殖

- ① 「つくり育てる漁業」の推進
- ② 「守り育てる漁業」の推進

3. 漁場機能の整備

- ① 漁場基盤の整備及び維持管理(漁船漁業)
- ② 生産環境の改善(かき養殖業)

4. かき養殖の安定生産と販売戦略

- ① 一粒かきの安定生産と販売戦略
- ② 高品質かきの安定生産と販売戦略

5. 漁業経営の安定化

- ① 特産品づくりの促進

6. 商工・観光・農業等との連携

- ① 連携体制への参画
- ② 連携事業の展開

